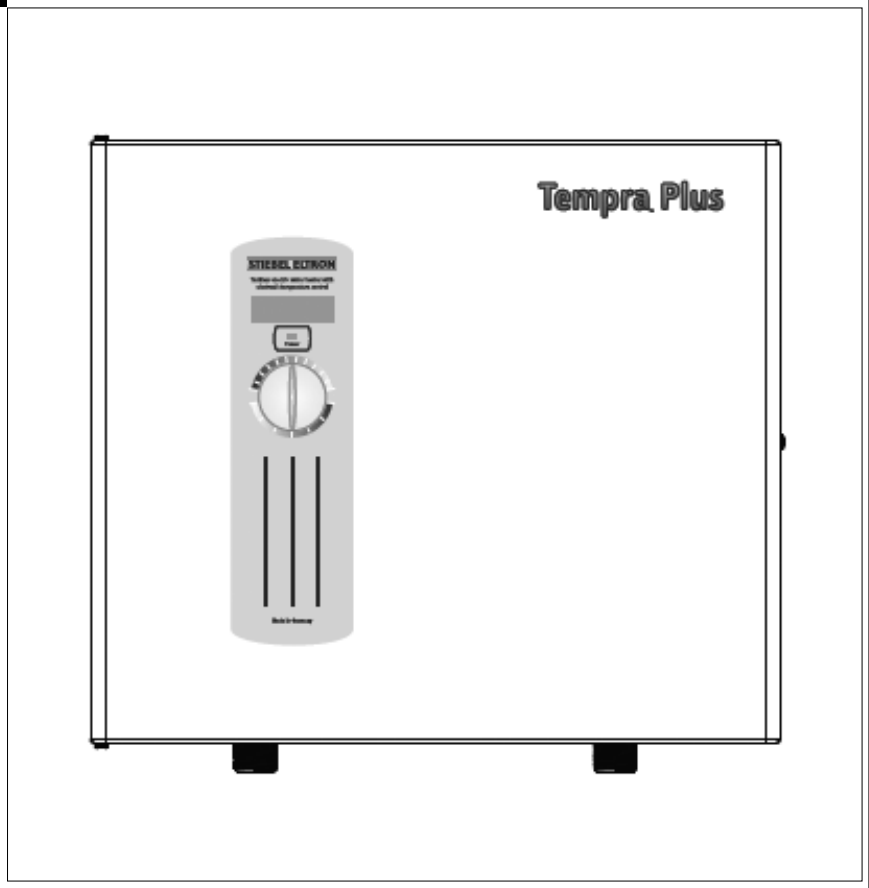
STIEBEL ELTRON

瞬間式電気温水器
取扱説明書
（取付説明書、保証書付）

型　名……
- ●Tempra 8 Plus
- ●Tempra 10 Plus
- ●Tempra 13 Plus
- ●Tempra 16 Plus
- ●Tempra 20 Plus
- ●Tempra 25 Plus



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
● この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意…… 1
2. 特長…… 3
3. 各部のなまえと外形寸法…… 3
4. ご使用方法…… 4
   4－1. 機器の操作方法 …… 4
   4－2. 水栓でお湯を出す …… 5
   4－3. 長期間使用しないときは？ … 5
5. 日常の点検とお手入れ…… 6
6. 故障かな？と思ったら…… 6
7. 点検及び修理について…… 7
8. 標準仕様…… 8

取付説明書

1. 安全上のご注意 …… 10
2. 各部のなまえ …… 13
   2－1. 内部部品のなまえ …… 13
   2－2. 付属部品 …… 13
3. 機器設置工事 …… 14
4. 配管工事 …… 15
5. 電気配線工事 …… 16
6. 初期設定 …… 19
   保証書 …… 21

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止マーク	してはいけないことを示します。
注意マーク	注意することを示します。
指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止

絶対に改造はしないでください。

機器に取付けられている配管は、絶対に取外さないでください。

濡れた手で機器を操作しないでください。

機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。

機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください

機器の離隔距離の範囲内に物をかける、設置するなどしないでください。

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≧130mm	≧130mm	≧130mm	≧130mm	≧500mm

正面カバーを開いた状態でブレーカを「入」（ON）にしないでください。

水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。

指示

機器に異常が発生した場合は、機器の電源をOFFにし、ブレーカを「切」（OFF）にしてお客さまセンターに修理を依頼してください。

補強を行なっていても震災、その他の天変地異で転倒する可能性があります。万が一壁から外れた場合は、下記の①～③を実施の上、お客さまセンターにご連絡ください。

① 機器の電源ブレーカを「切」（OFF）にしてください。
② 落下物がある場合は取り除いてください。
③ 建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。

アース工事、漏電遮断器設置工事が適正に行われていることを確かめてください。

機器の設置、移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。

子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止

機器及びその配管に乗ったり、体重を掛けたり物を載せたりしないでください。

飲用はしないでください。

注意

点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。

指示

給湯中とその直後は高温になっておりますので、配管部分には直接触れないでください。

使い始めや排水時には瞬間的に熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。

機器を覆うようなものを設置しないでください。

機器の許容周囲温度の範囲内でご使用ください。

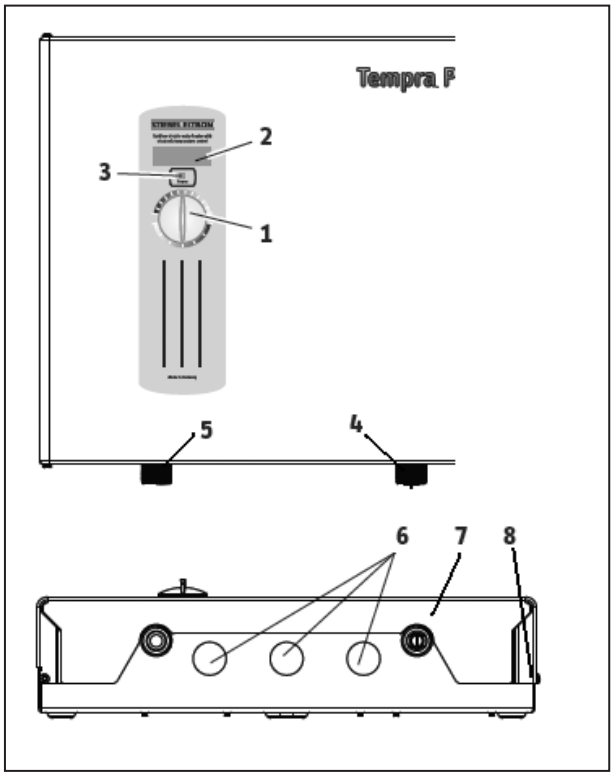
給水温度は、0℃～55℃の範囲としてください。

機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ保管できるようにしてください。

2. 特長

Ｔｅｍｐｒａ Ｐｌｕｓシリーズ（以下、機器）は個人住宅、集合住宅、商業施設などでご使用いただける瞬間式電気温水器です。貯湯タンクを必要とする従来のエコキュート、貯湯式電気温水器と異なり大容量の貯湯タンクが不要で、必要な時に必要な量の温水をご使用いただけます。また、貯湯のために温水を作る必要が無い省電力機器です。
さらに、大容量の貯湯タンクがないため設置場所の制約が少ない機器です。

3. 各部のなまえと外形寸法



各部のなまえ

1：温度調節ダイヤル

2：ディスプレイ

3：「Power」ランプ

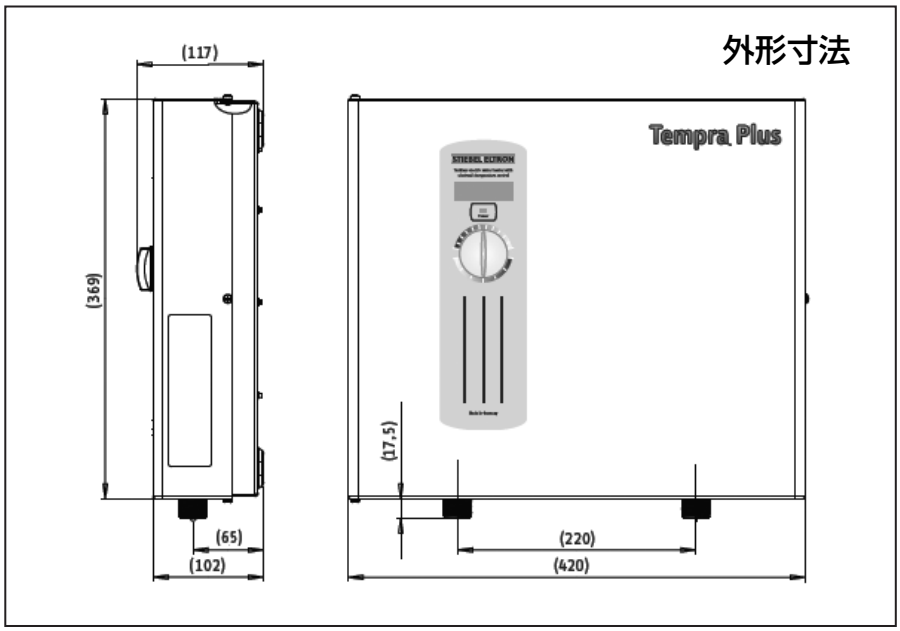
4：給水配管接続口

5：給湯配管接続口

6：電源ケーブル引込口

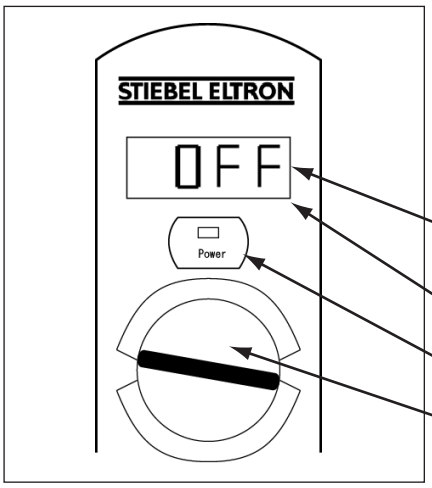
7：正面カバー

8：正面カバー固定ネジ



4. ご使用方法

4－1．機器の操作方法

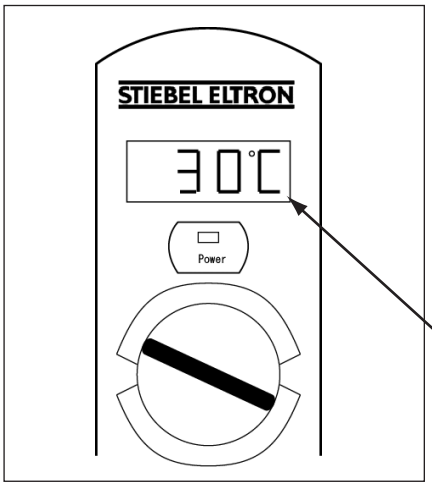


（1）ブレーカ「入」（ON）にして電気を供給してください。

ディスプレイが表示されます。

温度調節ダイヤルがOFF状態

ディスプレイ
「Power」ランプ
温度調節ダイヤル



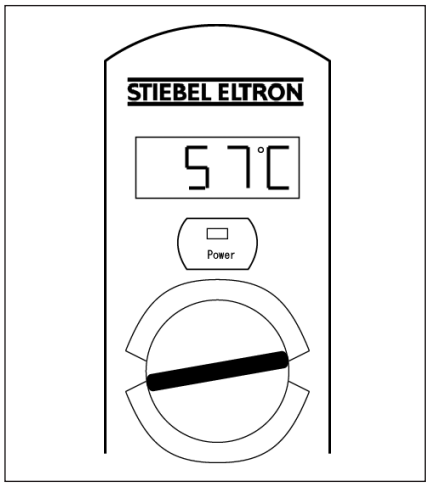
（2）温度調節ダイヤルを回してお好みの温度に設定します。

温度調節ダイヤルは30℃～60℃の範囲でお湯の温度を任意に設定できます。
また、お湯の温度の設定範囲を30℃～43℃に限定することができます。（P. 7 「7. 点検及び修理について」記載のお客さまセンターにご連絡ください。）

温度調節ダイヤルで設定した温度でお湯を出します。

メモ

給湯配管経路が長い場合や配管経路の温度が低い場合は、設定した温度より低い温度でお湯が出ることがあります。



(3) 水栓のお湯側を開けると「Power」ランプが点灯します。

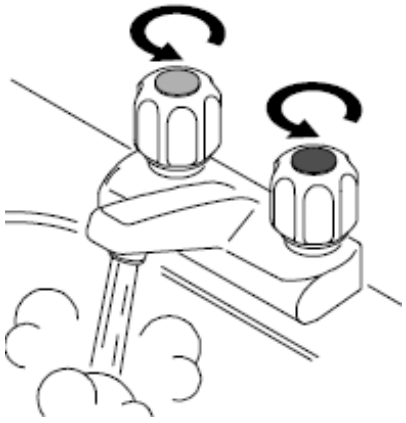
給湯運転中以外は、温度調節ダイヤルで設定温度を高くしても「Power」ランプは点灯しません。

(4) お湯の温度が安定するまで20秒程度お待ちください。

(5) 水栓のお湯側を閉じるとお湯が止まり「Power」ランプが消灯します。

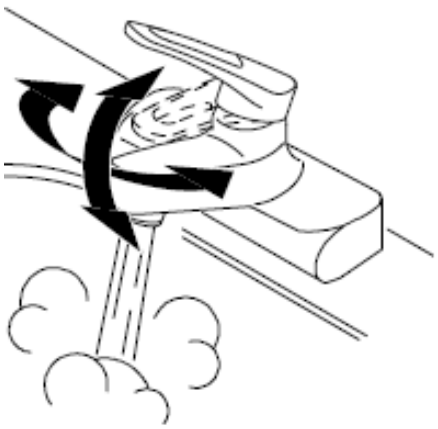
4−2. 水栓でお湯を出す

2ハンドル式水栓の場合



お湯を出す：水栓のお湯側だけを開ける。
ぬるくする：水栓の水側も開ける。

シングルレバー式水栓の場合



お湯を出す：水栓のレバーをお湯側に回す。
ぬるくする：水栓のレバーを水側に回す。

4−3. 長期間使用しないときは？

（1）機器のブレーカを「切」（OFF）にします。
（2）止水栓を閉じます。

5. 日常の点検とお手入れ

製品寿命は水質とご使用方法に左右されます。機器のメンテナンスは特に不要ですが、水栓の吐出口を掃除し異物や汚れがあれば取り除くことをお勧めします。
外装のお手入れは、下記に注意して乾いた布で拭きます。薬品やクレンザー等は使用しないでください。

おねがい

ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロン製のたわしなどの使用は、機器を傷めますので絶対にやめてください。
機器を水で洗わないでください。また水に浸けないでください。

6. 故障かな？と思ったら

現　象	確認項目	処置方法	参照ページ
お湯が出ない。	ブレーカが「切」（ＯＦＦ）になっていませんか。	ブレーカを「入」（ＯＮ）にしてください。	―
	ディスプレイに「ＯＦＦ」と表示されていませんか。	表示が「ＯＦＦ」以外になるよう温度調節ダイヤルを回してください。	P. 4 4－1
	水栓の吐出口が詰まっていませんか。	水栓の吐出口が詰まっていれば清掃してください。	―
	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を開けてください。	―
	水道管が凍結していませんか。	水道管が凍結している場合は、水道工事業者に連絡してください。	―
お湯の温度が高い。	ディスプレイの表示温度が高くありませんか。	温度調節ダイヤルを低めにしてください。	P. 4 4－1
お湯の温度が低い。	ディスプレイの表示温度が低くありませんか。	温度調節ダイヤルを高めにしてください。	P. 4 4－1
表示が点灯しない。	ブレーカが「切」（ＯＦＦ）になっていませんか。	ブレーカを「入」（ＯＮ）にしてください。 上記状態で、表示が点灯しない場合は、お客さまセンターに連絡してください。	P. 7 7
濁ったお湯が出る。	配管が腐食していませんか。	止水栓を締め、ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にして、水道工事業者に連絡してください。	―
	水道管工事直後ではありませんか。	水道管工事等があった場合は、濁りがなくなるまで水を出し続けてください。	―
漏水している。	機器から流れていませんか。	お客さまセンターに連絡してください。	P. 7 7
	配管から流れていませんか。	水道工事業者に連絡してください。	―

上記以外の現象、または上記で問題が解決しない場合は、「P.7　7. 点検および修理について」をご参照の上、日本スティーベル株式会社のお客さまセンターまでご連絡ください。

7. 点検および修理について

(1) アフターサービス（点検・修理）を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書「P.6　6. 故障かな？と思ったら」をよくお読みのうえ、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで、お客さまセンターにご連絡ください。

お客さまセンター

フリーダイヤル **0120-146-497**（固定電話のみ）

●携帯・ＰＨＳの場合 …… ☎022-727-5238

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧のうえ、次の項目をお知らせください。

① 型　　名　　：銘板ラベルに記載
② 製造番号　　：銘板ラベルに記載
③ 不具合の内容　：お湯が温まらないなど
④ お取付年月日　：保証書をご覧ください
⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

機器は、お取付日から１年保証です。
保証書は、販売店または、施工店からお渡しいたしますので、必ず「販売店」または、「施工店」名、「お取付日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。
修理を依頼される場合、お客さまセンターにご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

お客さまご自身で分解、改造した場合は、一切保証できかねますので、予めご了承ください。

8. 標準仕様

機器名		Tempra8 Plus	Tempra10 Plus	Tempra13 Plus	Tempra16 Plus	Tempra20 Plus	Tempra25 Plus
電　源	単相	200V　50／60Hz					
	三相	—				200V　50／60Hz	
ヒーター容量(kW)		8.3	10.0	13.3	16.7	20.0	25.0
定格電流（A）	単相	41.6	50.0	66.7	83.3	100	125
	三相	—				57.8	72.3
漏　電ブレーカ	単相	60A	40A×2	50A×2	60A×2	50A×3	60A×3
	三相	—				75A	100A
質　量（kg）		6.1	7.3	7.3	7.3	8.6	8.6
※　号　数		4.8	5.7	7.6	9.5	11.4	14.3
給湯温度設定範囲（℃）		30～60					
最大給水温度（℃）		55					
給水側最大水圧（bar）		10					
最低流量（ℓ/min）		1.4	2.2	2.2	2.2	3.3	3.3
外形寸法	W（mm）	420					
	H（mm）	369					
	D（mm）	117					
接　続　口		3／4 NPT					

※号数とは、給水温度を＋25℃温めたお湯を1分間に何リットル供給できるかを表示しています。
単位（ℓ／25K・min）

STIEBEL ELTRON

瞬間式電気温水器
取付説明書
（保証書付）

型　名……
- Tempra 8 Plus
- Tempra 10 Plus
- Tempra 13 Plus
- Tempra 16 Plus
- Tempra 20 Plus
- Tempra 25 Plus

取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客さまにご使用いただくために、取扱説明書ならびに本書の「1. 安全上のご注意」（P.10）をよくお読みのうえ、取付説明書の内容に沿って正しく取付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。
- 本書の保証書に販売店及び取付日等の必要事項が記載されていることを必ず確認してください。
- 工事終了後は、本書を必ずお客さまにお渡しください。
- 工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接、お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、第三者から必ずお客様に取扱いの説明を行なうようにしてください。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止マーク	してはいけないことを示します。
注意マーク	注意することを示します。
指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止

- 機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
- 凍結の恐れがある場所には設置しないでください。
- 屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。
- 200Vの電源ケーブルには200Vの屋内配線以外を接続しないでください。
- 付属の電源ケーブルを外さないでください。
- 絶対に改造はしないでください。
- 取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
- 機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。
- 濡れた手で機器を操作しないでください。
- 水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。

指示

機器は下表の離隔距離を守って設置してください。

単位：mm

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≧130	≧130	≧130	≧130	≧500

ジョイントボックスまたはコンセントボックスは、機器から100mm以上離してください。

背面金具を正しく取付け、機器をしっかりと壁面に固定してください。

電源（単相／三相）及び消費電力、定格電流を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しい配線を行なってください。

必ず漏電ブレーカを１台設置してください。

アースは第三種接地工事(D種接地)を行ってください。

電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

結線部は正しく、緩みがないように配線作業をしてください。

機器の異常を発見した場合は、お客さまに引き渡しをせず、お客さまセンターにご相談ください。

正面パネルを外して点検する際は、電源ブレーカ「切」（ＯＦＦ）にしてから作業してください。

床面に防水処理を施してください。

水の凍結が予想されるところでは、凍結防止処理を施してください。

注意

禁止

設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。

機器の上に物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

指示

水栓には必ず専用の水栓を使用し、配管が接続可能な位置に機器を設置してください。

水道管には、機器に接続する前に必ず専用の止水栓と減圧弁を付けてください。

機器の設置位置周辺に200Ｖの屋内配線を引き、ジョイントボックス内、またはコンセントボックスで機器の電源ケーブルと接続できるようにしてください。

試運転、引き渡し前には必ず絶縁抵抗を確認してください。

配管接続口を必ず下に向けて設置してください。

給湯配管距離は、最長で6m以内としてください。

給湯接続配管、給水接続配管には、銅管、ＰＥＸチューブ、ブレードホースを使用してください。

温水器の質量に十分に耐えられる強度を持った壁面に設置してください。

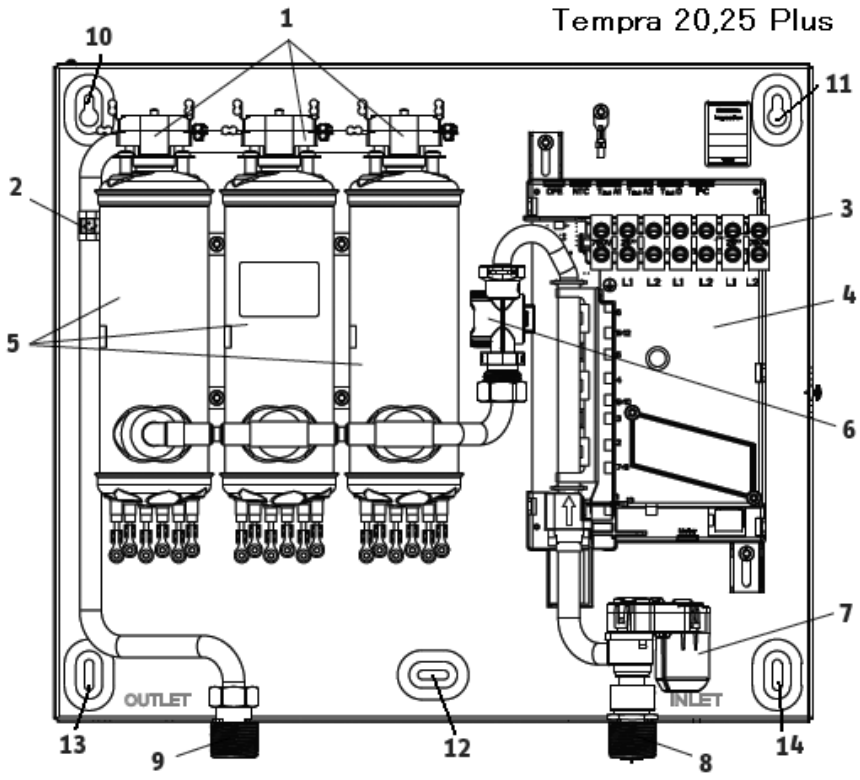
表示部基板に差し込まれているリード付コネクタを必ず基板の「ＴＳｏＩＩＤ」の差し込み部に差し込んでください。

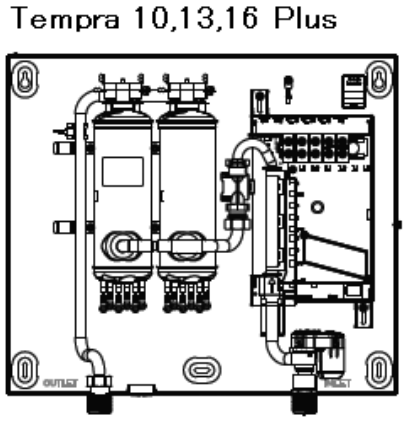
取扱説明書の保証書に販売店、及び、取付け日等の必要事項が記載されていることを確認し、必ずお客さまにお渡しください。

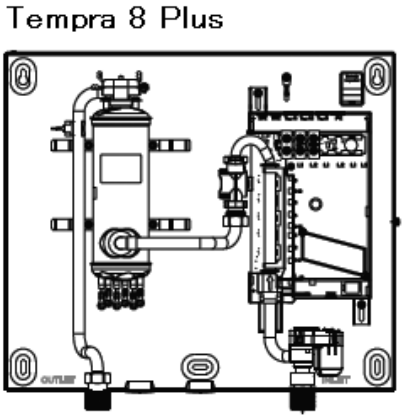
工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、必ずお客さまに取扱いの説明を行なうようにしてください。

2. 各部のなまえ

2−1. 内部部品のなまえ







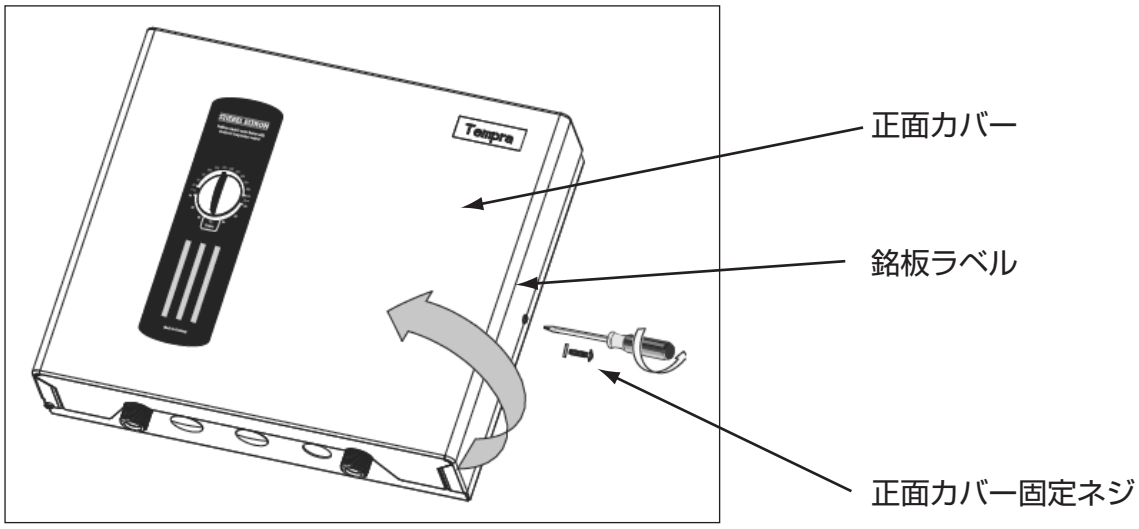
1　過昇温防止器
2　温水温度センサー
3　電源端子台
4　基板
5　ヒーター缶体
6　流量センサー
7　流量調節弁
8　給水配管接続口
9　給湯配管接続口
10〜14　壁固定用ネジ穴

2−2. 付属部品

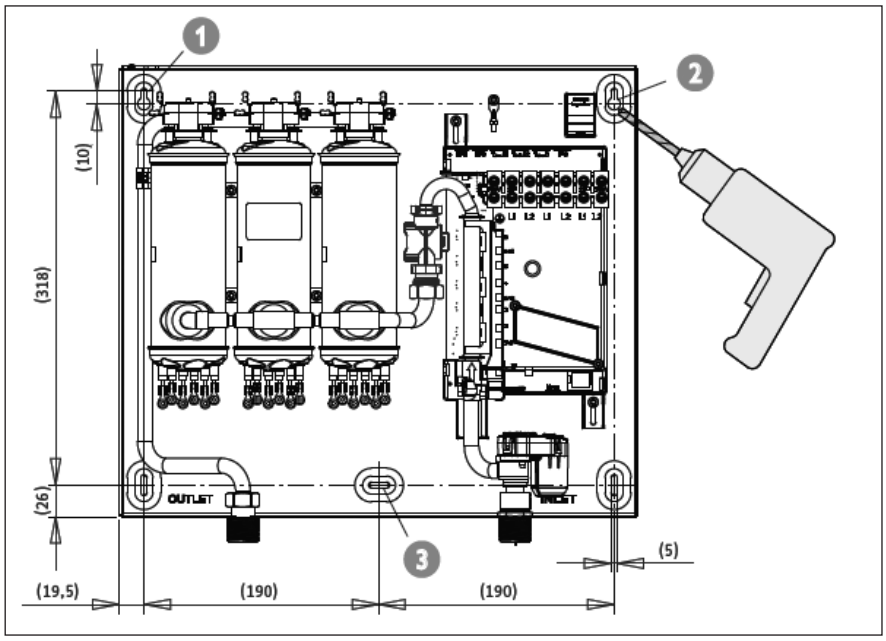
取扱取付説明書…… 1冊
アルミテープ 50mm×460mm…… 2枚
カールプラグ…… 3個
機器固定用ネジ…… 3本

3. 機器設置工事

①「+」ドライバーで「正面カバー」右側面の「正面カバー固定ネジ」を外して、「正面カバー」を手前に開けます。

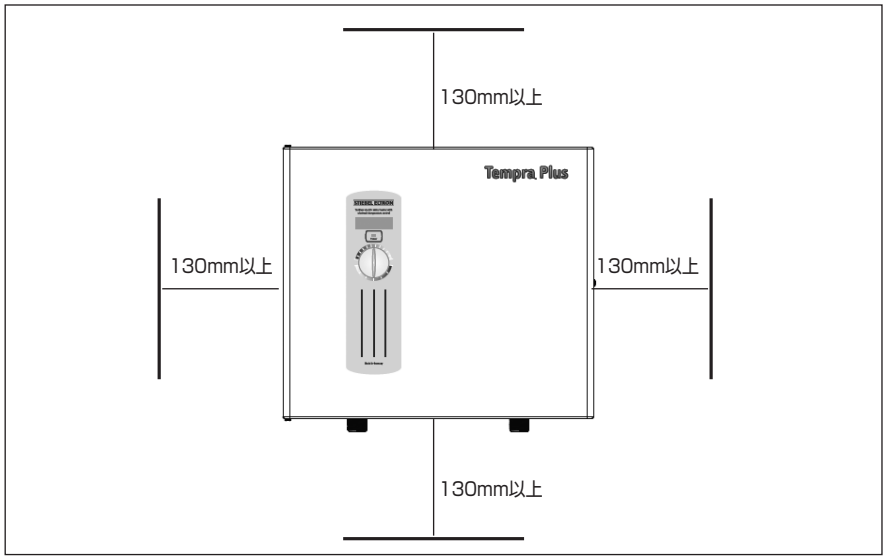


②下記3ヶ所のネジ穴を利用して機器を壁に固定します。



メモ

機器の質量に十分耐えられる強度を持った壁面に設置してください。壁面への固定は、付属のカールプラグと機器固定用ネジか、温水器の質量に耐えられる、カールプラグ等と木ネジを使用してください。

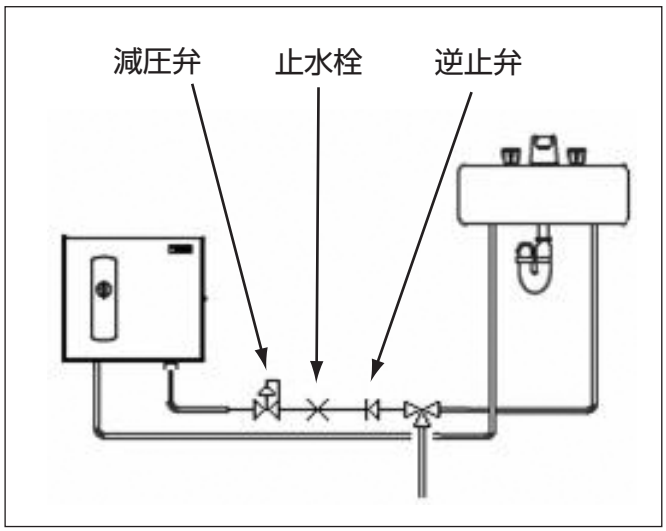


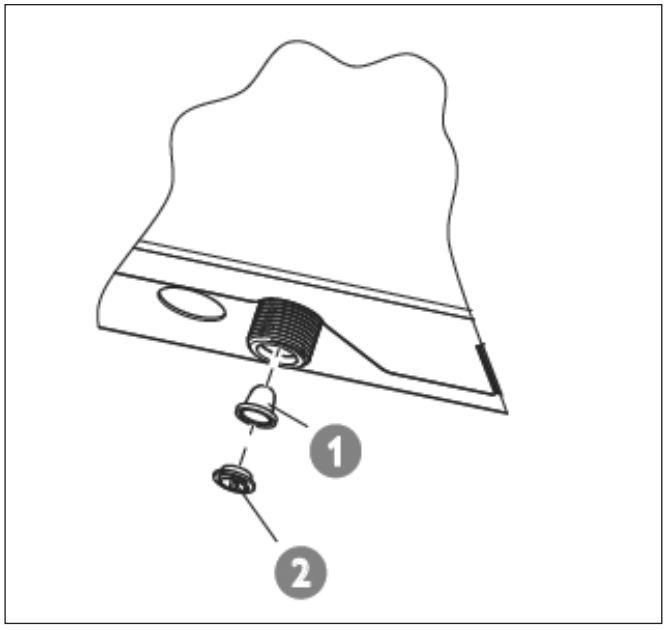
③上下左右の離隔は130mm以上とります。

④正面カバーが開閉できるように前面に500mm以上の離隔をとります。

⑤電源ケーブルは機器の下部から引込みます。

4. 配管工事





１）正面から見て右側が給水配管、左側が給湯配管になります。
２）給水側の水圧が10barを超える場合は、必ず給水配管接続口の手前に減圧弁を取付けます。
３）給水配管接続口の手前に、必ず止水栓を取付けます。
４）給水配管接続口の手前に、必ず逆止弁を取付けます。
５）給水配管は異物や汚れなどが残らないよう洗浄した上で、機器の給水配管接続口に接続します。
６）機器には給水配管接続口にフィルター（左図①）が付けてあります。
７）フィルターが定期的に洗浄できるよう給水配管を接続します。
８）フィルターの前にはワッシャー（左図②）を必ず付けます
９）給湯配管は異物や汚れなどが残らないよう洗浄した上で、機器の給湯配管接続口に接続します。
10）機器の接続口は3／4インチのテーパーネジです。銅管、ＰＥＸチューブ、ブレードホースに接続できるように設計しています。もし、機器のすぐ側で溶接付けが必要となる場合は、機器や周囲に損傷を与えないようにします。
11）全ての配管作業が終了後、水漏れがないことを確認します。

メモ

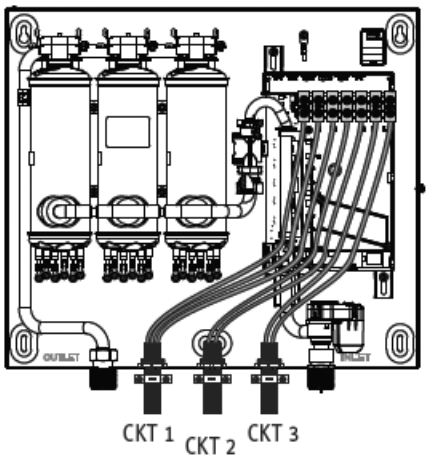
機器には貯湯タンクが無いため逃し弁は、不要です。

おねがい

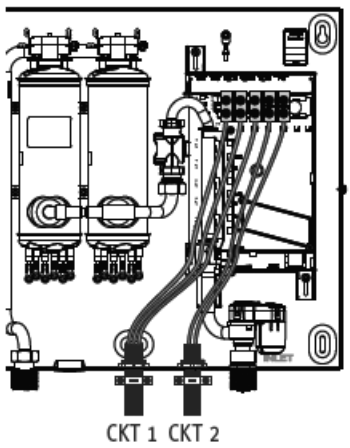
給湯配管が低い位置にあるなど、子供がやけどする恐れがある場合には、給湯配管の断熱工事を行ってください。

5. 電気配線工事

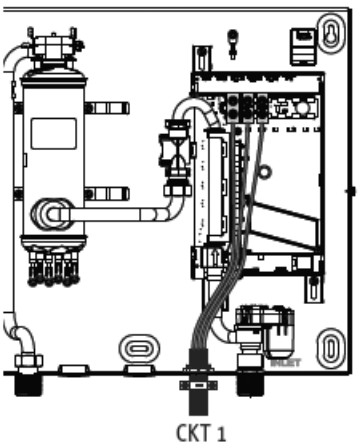
１）電気配線工事は、内線規程に従い配線してください。
２）適切にアース工事を行い、定格電圧で配線工事を行います。
機器は型式によって電源ケーブルの本数が異なりますので、下記をご参照ください。また、ケーブル毎に双極ブレーカで保護してください。
Tempra 8 Plus ……1回路
Tempra 10／13／16 Plus ……2回路
Tempra 20／25 Plus……3回路



Tempra 20／25 Plus



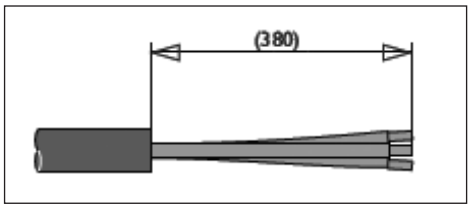
Tempra 10／13／16 Plus



Tempra 8 Plus

「P.8　8. 標準仕様」を参照の上、適切な容量のブレーカと電源ケーブル、アース線を配線します。
電源ケーブルを接続後、必ず一次側と二次側の端子を増締めします。

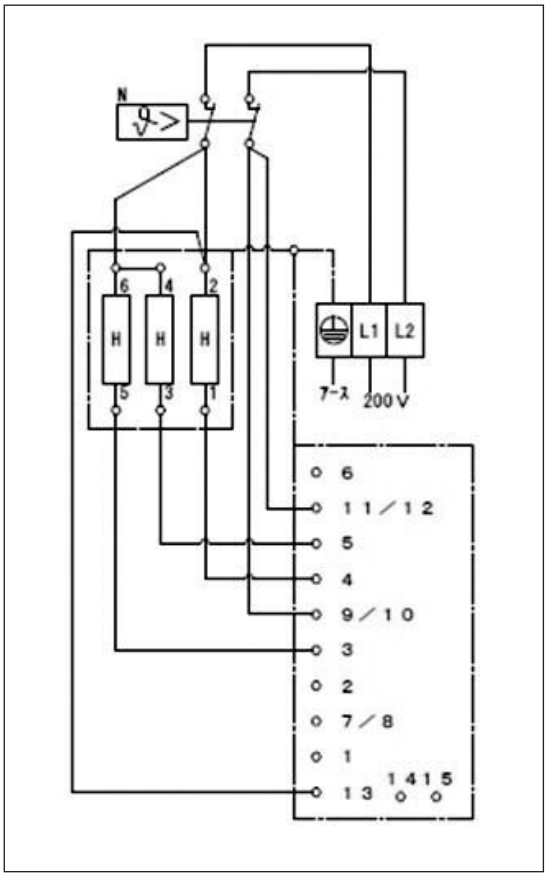
３）電源ケーブルの芯線は以下の様に380mm剥きます。



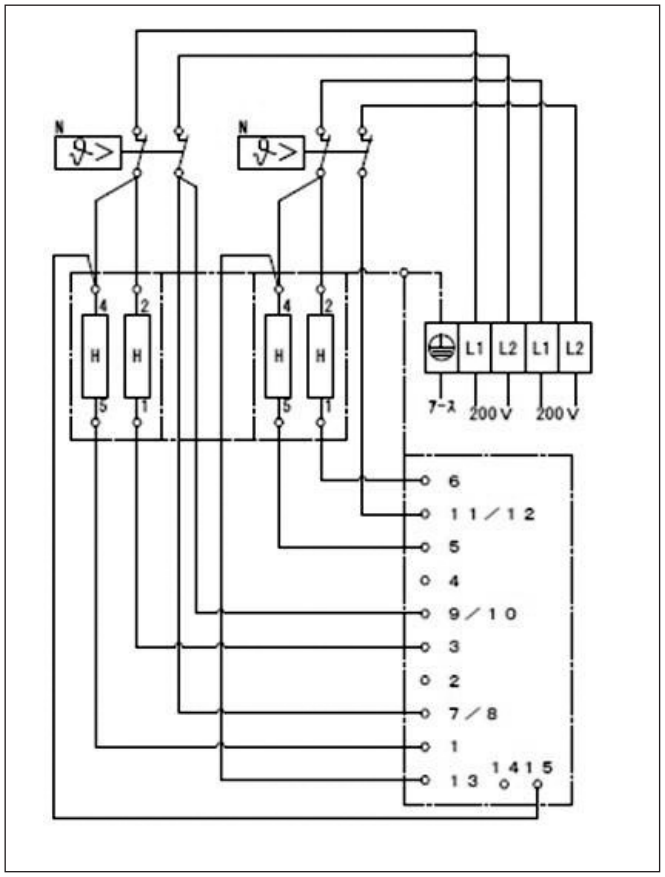
４）電源ケーブルはCKT1～CKT3の電源ケーブル引込口を通して機器内部に引込みます。電源ケーブルは、機種毎に結線図に従い「L1」「L2」の端子に接続します。
アース線は ㊥（GND）に接続します。

おねがい

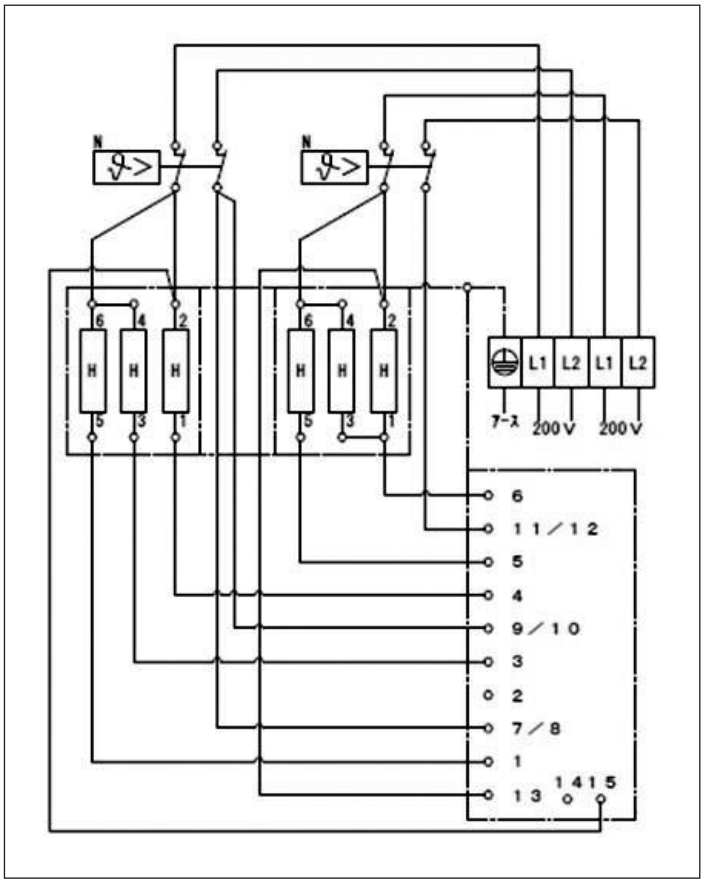
Tempra20／25Plusは「単相」仕様と「三相」仕様で銘板ラベル（機種名が記載されており、機器の右面側に貼ってあります）が異なります。
銘板ラベルに記載してある電源（単相／三相）を接続してください。
三相結線で端子台に渡り線を接続できない場合は、予め電源ケーブルを分岐して１つの端子に対して１本の電源ケーブルが配線されるようにします。（図 Tempra20／25Plus三相結線図参照）



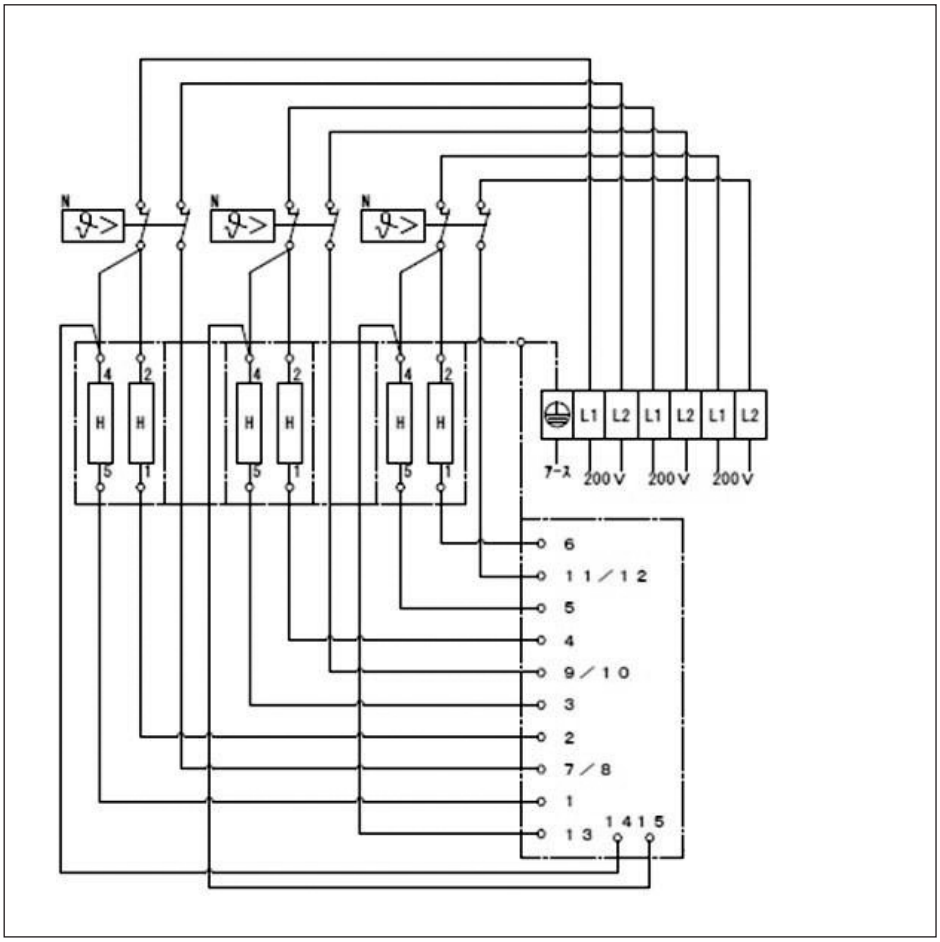
Tempra 8 Plus 結線図



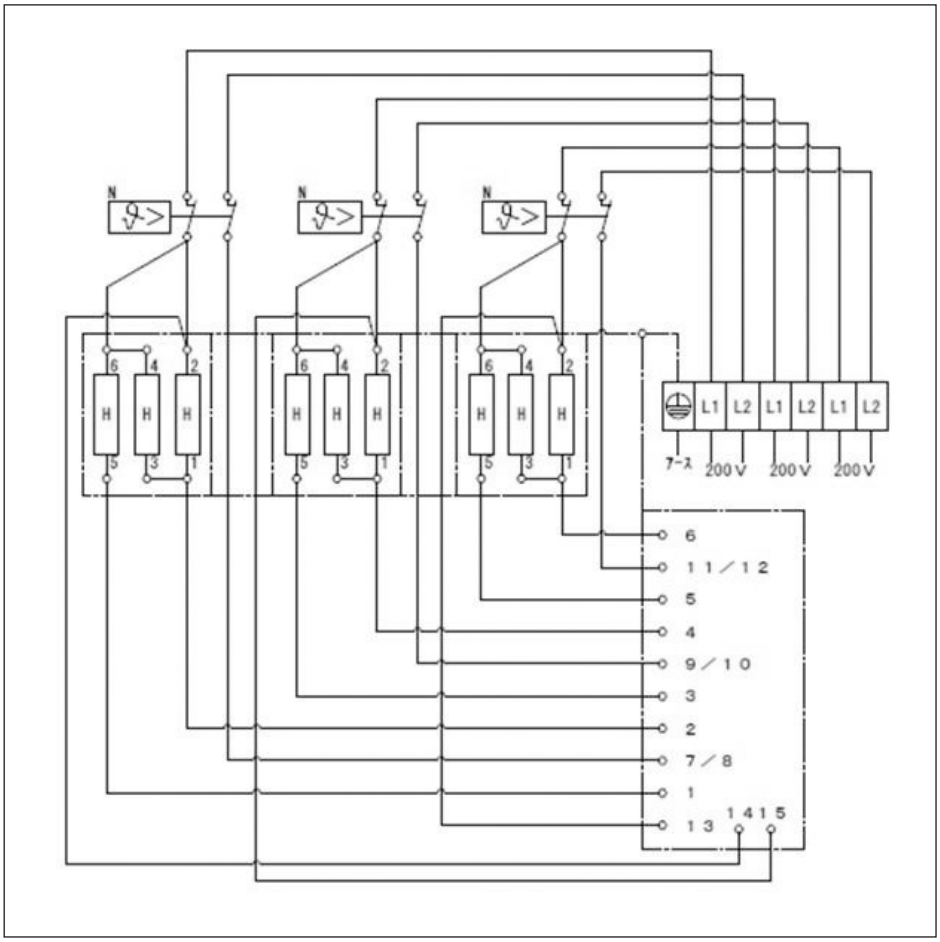
Tempra 10／13 Plus 結線図



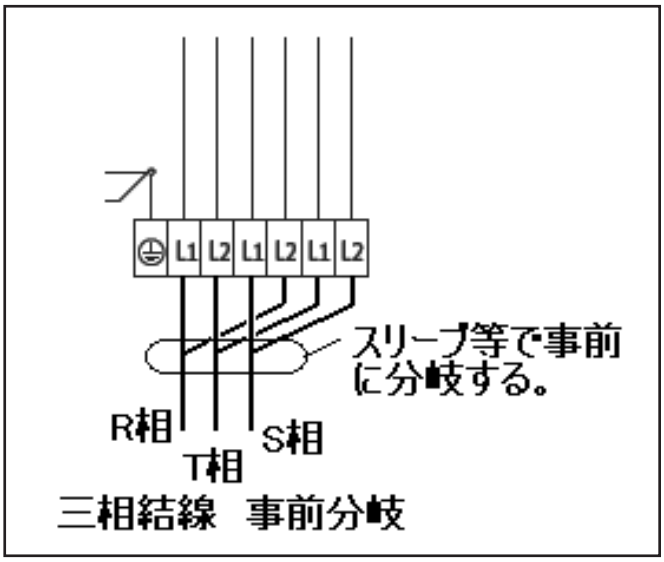
Tempra 16 Plus 結線図



Tempra 20 Plus 結線図

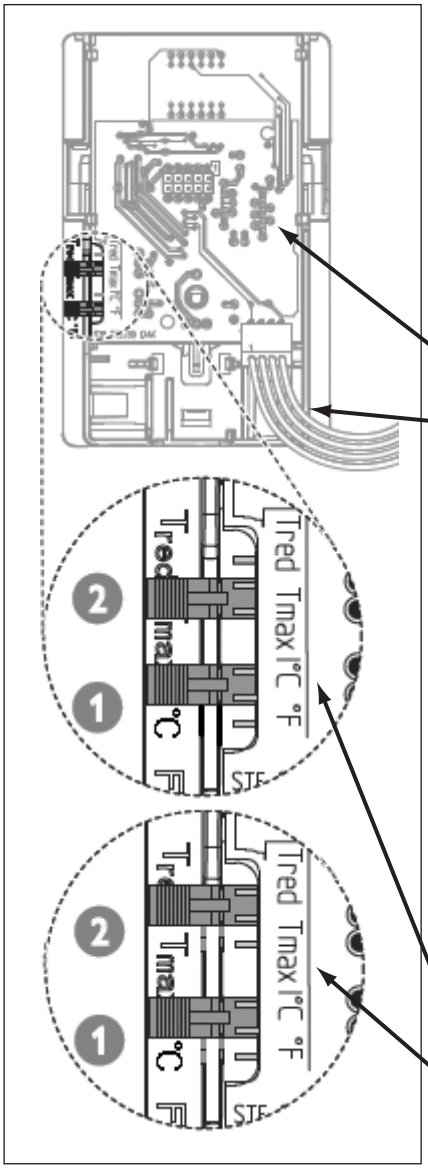


Tempra 25 Plus 結線図



Tempra 20／25 Plus　三相結線図

6. 初期設定



１）「＋」ドライバーで「正面カバー」右側面の「正面カバー固定ネジ」を外して「正面カバー」を手前に開けます。
２）正面カバーの裏側についている表示部基板を見ます。
３）表示部基板についているリード付コネクタのコネクタを基板の最上部にある「ＴＳｏｌｉＤ」の差し込み部に差し込みます。
４）ジャンパーの位置を確認します。

表示部基板

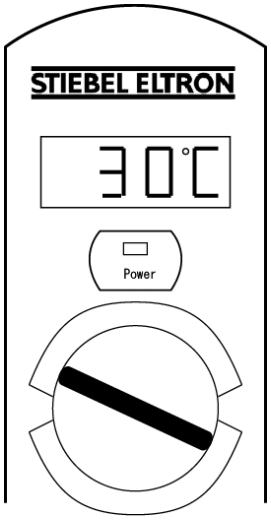
リード付コネクタ

左図①のジャンパーは、温度表示です。
初期設定は、摂氏（℃）表示に設定してあります。
ジャンパーをひとつ下側にずらして、華氏（°Ｆ）表示に変更することができます。
左図②のジャンパーは、給湯温度制限のＯＮ／ＯＦＦです。
初期設定は「ＯＦＦ」（Ｔｍａｘ）になっており、給湯温度を60℃まで設定できます。
ジャンパーをひとつ上側「ＯＮ」（Ｔｒｅｄ）にずらすと、給湯温度の上限を43℃までに限定できます。
お客様の要望を確認の上変更してください。

初期設定時のジャンパーの位置

②のジャンパーの変更後

５）通水、通電確認を行います。



①機器のブレーカを「入」（ＯＮ）にします。
②温度調節ダイヤルを時計回りに回し、ディスプレイを「ＯＦＦ」表示以外にします。
③機器の給水管側の「止水栓」を開けて給水します。
④水栓を開けてお湯が出ることを確認します。
⑤お湯が出ている状態で、端子台または、ブレーカで電流値を計測します。
電流値は下記の定格電流値表で±10%の許容値であることを確認します。
⑥お湯が出ていない状態で、端子台または、ブレーカで電流値が出ていないことを確認します。
⑦温度調節ダイヤルを反時計回りに回し、ディスプレイを「ＯＦＦ」表示に設定して、水栓を閉じます。

定格電流値表

機器名	Tempra8 Plus	Tempra10 Plus	Tempra13 Plus	Tempra16 Plus	Tempra20 Plus	Tempra25 Plus
単　相	41.6	50.0	66.7	83.3	100	125
三　相	—				57.8	72.3

※ 許容電流値±10%です。

６）「正面カバー」を閉じ、「正面カバー固定ネジ」で「正面カバー」を固定します。
７）付属のアルミテープ幅50mm長さ460mm2枚で上部天板の部材間の隙間を目張りし、両側に20mm程度折り返すように貼付けます。

おねがい

付属のアルミテープを剥がした場合は、市販のアルミテープ（幅50mm 長さ460mm 厚み0.1mm）を2枚貼ってください。

保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。お取付け日から１年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お客さまセンターに修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ	
	お名前　　様	
販売店	社名　　印 〒 住所	取扱者 印
	電話（　　）　　－	
お取付日	年　　月　　日	

製　品	Tempra 8 Plus Tempra 10 Plus Tempra 13 Plus Tempra 16 Plus Tempra 20 Plus Tempra 25 Plus	
製造番号	—　　—	
保証期間	製品	お取り付け日から１年

機器はお取付日から１ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付年月日、販売店名、扱者印が捺印してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

（無料修理規定）

1．取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。

2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お客さまセンターにご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。

3．ご転居等、お取付場所を移動する場合は、予めお客さまセンターにご相談ください。

4．保証期間内でも次の場合は有料修理となります。

（A）使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。

（B）お取付後の移設及び取付説明書に基づいた取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。

（C）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）・塩害・異常電圧による故障及び損傷の場合。

（D）指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。

（E）一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。

（F）砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。

（G）本書の提示が無い場合、お客様名、お取付け店名、お取付け日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

5．以下の場合に生じた費用及び代金は、本書による無料による無料保証の対象にはなりません。

（A）理由の如何を問わず、使用場所に設置した機器の容量が不足していた場合の機器を追加する費用。

（B）理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。

（C）機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。

6．本書は日本国内においてのみ有効です。

7．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

お客さまセンター
フリーダイヤル
0120-146-497（固定電話のみ）
●携帯・ＰＨＳの場合 …… ☎022-727-5238

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル８Ｆ
ホームページ　http://www.nihonstiebel.co.jp

■製造者
スティーベルエルトロン

本書、製品の仕様、外観及び価格は予告なく変更する場合があります。
本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

商品コード
63998016

T4110501
201411120C